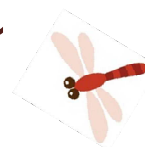
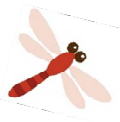


～9 月は『認知症を知る月間』～

テーマ

『わたしを忘れてもいいよ』
～でも、わたしはずっとずっと覚えているよ～



ジャンル	書 名	著 者 名	資料番号
一般	ケアメンを生きる 男性介護者100万人へのエール	津止 正敏	40024655
//	「どうしよう!」「困った!」場面で役に立つ 認知症の人の心に届く、声のかけ方・接し方	高口 光子	40024656
//	認知症の親を介護している人の心を守る本	西村 知香 監修	40024657
//	マンガで解決 親の認知症とお金が不安です	上大岡 トメ	40024658
//	遠距離介護の幸せなカタチ	柴田 理恵	40024659
//	記憶とつなぐ 若年性認知症と向き合う私たちのこと	下坂 厚 下坂 佳子	40024660
//	私は私になっていく 認知症とダンスを	ブライデン・クリスティーン	40024661
//	認知症グレーゾーンからUターンした人がやっていること	朝田 隆	40024662
絵本	いっしょにあるく	うえの みえこ	40024663

岡山市地域包括支援センター
認知症担当キャラクターサポくま

認知症関係の新しい本だよ。
介護予防をはじめ、保健や福祉などの様々な相談に応じている
西地域包括支援センターの職員が選んでくれたよ。
利用してね♪



「遠距離介護の幸せなカタチ」

柴田 理恵

こんな介護の方法があったとは!

・地域包括センターへの相談が、介護の第一歩・「同居介護」よりも「遠距離介護」がオススメなわけ・介護保険の利用の仕方 etc. 介護に正解はありません。でも情報を知ること
で最善の介護は選べます!

「私は私になっていく

認知症とダンスを」

ブライデン・クリスティーン

認知や感情がはがされていっても、私は本当の自分になっていくー。
46歳の若さで認知症と診断された著者が、認知症とともに前向きに生きる自らの体験を綴った手記。